

おだか

第21号

2015

平成27年11月27日(金)

南相馬市

小高小学校

学校だより

ご協力ありがとうございました

イルミネーション設置作業



イルミネーションを箱から出して点検しています

11月21日(土)10時から、4校のPTA会員の皆様のご協力をいただき、イルミネーション設置作業が終わりました。前回の作業日が雨で延期されたため、3連休の初日となってしまいましたが、多数のご参加をいただき無事終了いたしました。接続もすべて終わり、29日(日)の点灯式を待つばかりです。

当日は、ろうそく型のLEDを使って文字を作ったり、代表して点灯のスイッチをいれる子どもを選ぶゲーム大会を行ったりする予定です。また、小高区連合婦人会の皆様による「とん汁」や「せんべいつかみ取り大会」も予定しています。

小高区を盛り上げるイベントにしたいと考えていますので、ふるってご参集くださるようご案内申しあげます。

健康な体作りのために

福島県の健康に関する主な課題は、「肥満」「う歯」「近視」「性」の4つだと言われています。特に肥満は、小高小の子どもたちにとって大きな課題となっています。市の教育委員会の資料によると、仮設住宅で生活している児童は全国平均に比べ「身長が低く、体重は重い」という結果でした。

また、本校の4年生を対象に行った生活習慣病検診では、実に74%の児童が要医学的管理・要生活指導の判定を受けています。肥満度20%を越えている児童は、1/3です。

肥満には、運動および食生活の改善の2つの方面から働きかけを行う必要があります。運動については「はりきりタイム」や「体育支援アドバイザー」などを活用し意識して取り組んでいるところですが、食生活については、ご家庭の協力が不可欠です。

「朝食について見直そう週間運動」では、朝食を食べてくる児童の割合は94%と高いものの、野菜や汁物など内容面の充実が必要だという結果となりました。体が資本ですので、バランスのとれた朝食をご工夫いただければありがたく思います。



薬物乱用防止教室



尾形先生のお話、真剣に聞き入る6年生

幼児にたばこを吸わせる画像をネットにアップした事件が話題となりましたが、学校では、健康教育の観点から、麻薬やたばこ、お酒などについての危険を理解するための学習を、6年生を対象に行っています。

今回は、相双保険事務所の専門薬剤技師尾形様を先生としてお迎えし、勉強しました。

子どもたちは、仲間に引き込まれる手口や薬物の恐ろしさについて、真剣に学んでいました。感想をお知らせします。

この授業を終えて、ぼくが思ったことは、覚醒剤が危険なことは知っていたけど、お父さんが飲んでいるお酒やたばこも、飲み続けたり、吸い続けたりしたら危険だということなんです。初めて知りました。ぼくも気をつけたいです。(I・J)

薬物は、体をボロボロにし、未来をなくす物と知りました。一酸化炭素で血管が細くなることを初めて知りました。家族がたばこを吸っているの、今日知った「たばこを吸いすぎるとおそろしい」ということを家族に伝えたいと思います。ぼくも大人になつてたばこを吸っても少ない量にしたと思います。(M・R)

私は、今までアルコール依存とすることを知りませんでした。薬物を一度吸ってしまったら依存して未来や自由がなくなると聞き、薬物に対するこわい思いが強まりました。薬物の種類や見分け方などを知ることができてよかったです。
大人になっても薬物やアルコールに依存しないように気をつけたいです。(S・A)



傘がない!!

学校備え付けの傘がほとんど見当たりません。雨で傘を忘れた子どもたちに、貸し出しているのですが、その後学校に戻らないケースが多いようです。

ご家庭の傘をご確認いただき、学校の傘がまだご家庭にございましたら、お子さんを通して返却くださるようお願いいたします。



